

## 八尾市立病院経営計画の実施状況／平成27年度

&lt;評価&gt;

A→目標を達成または目標とする状況を実現  
 B→項目により目標に届かないものがあるが、概ね目標とする状況を実現  
 C→取り組みは一定進めたが目標未達成 D→具体的に進まず

## 1. 公立病院としての役割を果たす取り組み

経営計画の項目【1】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など																																																																																										
(1) 地域医療支援病院の承認継続	・地域医療支援病院の承認継続	・地域医療支援病院の承認要件の維持	・H27年度実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>達成率(%)</th> <th>H26</th> <th>H27-H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域医療支援病院の承認</td> <td>承認継続</td> <td></td> <td></td> <td>継続</td> </tr> </tbody> </table> ・地域医療支援委員会の開催(年4回)		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	地域医療支援病院の承認	承認継続			継続	A	・地域医療支援病院の要件(紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上)については、初診紹介患者数、診療情報提供件数の増加に努め、紹介率・逆紹介率ともに基準を上回り承認を継続した。																																																																																
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																																																											
地域医療支援病院の承認	承認継続			継続																																																																																											
(2) 医療連携の強化	・紹介率 年間 50.0 %以上 ・逆紹介率 年間 70.0 %以上  ・病・診・薬連携ネットワークシステムの情報共有患者数 550人	・診療機能の充実 紹介への確実な対応 高度医療機器による検査・治療および手術件数の増  ・共同利用・開放病床の運用  ・登録医・医療機関の増加 ・病院・診療所・薬局連携ネットワークシステムの運用拡大  ・地域連携クリティカルパスの適用拡大  ・地域の医療従事者・医療機関等との研究会、協議会、講演会等の開催  ・医療機関への広報(診療機能のPR)	・H27年度実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>達成率(%)</th> <th>H26</th> <th>H27-H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率(%)</td> <td>52.9</td> <td>105.8</td> <td>52.6</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(%)</td> <td>74.0</td> <td>105.7</td> <td>73.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>初診患者数(人)</td> <td>36,800</td> <td></td> <td>36,282</td> <td>518</td> </tr> <tr> <td>初診紹介患者数(人)</td> <td>12,388</td> <td></td> <td>11,882</td> <td>506</td> </tr> <tr> <td>診療情報提供件数(件)</td> <td>17,338</td> <td></td> <td>16,610</td> <td>728</td> </tr> </tbody> </table> ・H27年度実績 (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>(うち登録医)</th> <th>H26</th> <th>H27-H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要機器の共同利用件数</td> <td>1,496</td> <td>(1,048)</td> <td>1,533</td> <td>△ 37</td> </tr> <tr> <td>うちCT 検査</td> <td>644</td> <td>(473)</td> <td>582</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>うちMRI 検査</td> <td>456</td> <td>(315)</td> <td>486</td> <td>△ 30</td> </tr> <tr> <td>うち内視鏡</td> <td>174</td> <td>(127)</td> <td>194</td> <td>△ 20</td> </tr> </tbody> </table> ・H27年度実績 (件・人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>達成率(%)</th> <th>H26</th> <th>H27-H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接続機関数(3月末現在)</td> <td>81</td> <td></td> <td>68</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>情報共有患者数( " )</td> <td>773</td> <td>140.5</td> <td>515</td> <td>258</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関( " )</td> <td>435</td> <td></td> <td>402</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>地域連携バス適用件数(新規)</td> <td>39</td> <td></td> <td>47</td> <td>△ 8</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>12</td> <td></td> <td>24</td> <td>△ 12</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>27</td> <td></td> <td>23</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <会議・講演会・研修会等> ・中河内地域感染防止対策協議会 合同カンファレンス(10/3、3/19) 個別カンファレンス(8回) ・八尾地域医療合同研究会(5/9、10/24)その他圏域講演等の活動 ・緩和ケア研修会(10/31～11/1) ・薬剤師研修(7/12他1回)、がん看護師研修(6/25) ・中河内がん診療ネットワーク協議会(シンポジウム3/5) ・市内病院事務長会議(隔月) ・大阪府医師会勤務医部会第4ブロック会議(年4回)  ・医療機関への訪問活動 2,204回 ・「地域連携室だより」発行(隔月900部) ・「診療のご案内」発行(年間600部)		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	紹介率(%)	52.9	105.8	52.6	0.3	逆紹介率(%)	74.0	105.7	73.5	0.5	初診患者数(人)	36,800		36,282	518	初診紹介患者数(人)	12,388		11,882	506	診療情報提供件数(件)	17,338		16,610	728		H27	(うち登録医)	H26	H27-H26	主要機器の共同利用件数	1,496	(1,048)	1,533	△ 37	うちCT 検査	644	(473)	582	62	うちMRI 検査	456	(315)	486	△ 30	うち内視鏡	174	(127)	194	△ 20		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	接続機関数(3月末現在)	81		68	13	情報共有患者数( " )	773	140.5	515	258	登録医療機関( " )	435		402	33	地域連携バス適用件数(新規)	39		47	△ 8	脳卒中	12		24	△ 12	大腿骨頸部骨折	27		23	4	A	・かかりつけ医での受診促進と地域医療連携の一層の推進をめざし、初診時選定療養費の改定に向けた手続きを進め、H28年4月に改定した。 (税込1,530円→2,700円)  ・地域医療支援病院に求められる機能のうち医療機器の共同利用については、前年度実績より若干減少しており、高度医療機器の有効活用のため、地域医療機関へのPRにより紹介件数の増加に努める。  ・病院・診療所・薬局連携ネットワークシステムについては、H27年度から接続対象を八尾市外にも拡大し、年度末までに市外の7施設(医院3、薬局4)と新たに接続した。これにより、情報を共有した患者数も、前年度から258人増え目標を上回った。 またH27年度から運用を開始した地域連携クリティカルパスについては、新規登録数は前年度実績を下回ったものの、着実に適用件数を増やした。  ・地域の医療従事者、医療機関等との連携として、「中河内地域感染防止対策協議会」の合同・個別カンファレンス、緩和ケア研修会(毎年)の継続開催に加え、H27.5月に大阪広域情報交換会としてがんに関する講演会を開催、H28.3月に中河内がん診療ネットワーク協議会、及びシンポジウムを開催した。 さらに、地域の医療従事者が参加する研修会の開催、圏域講演活動への講師派遣等を積極的に行った。
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																																																											
紹介率(%)	52.9	105.8	52.6	0.3																																																																																											
逆紹介率(%)	74.0	105.7	73.5	0.5																																																																																											
初診患者数(人)	36,800		36,282	518																																																																																											
初診紹介患者数(人)	12,388		11,882	506																																																																																											
診療情報提供件数(件)	17,338		16,610	728																																																																																											
	H27	(うち登録医)	H26	H27-H26																																																																																											
主要機器の共同利用件数	1,496	(1,048)	1,533	△ 37																																																																																											
うちCT 検査	644	(473)	582	62																																																																																											
うちMRI 検査	456	(315)	486	△ 30																																																																																											
うち内視鏡	174	(127)	194	△ 20																																																																																											
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																																																											
接続機関数(3月末現在)	81		68	13																																																																																											
情報共有患者数( " )	773	140.5	515	258																																																																																											
登録医療機関( " )	435		402	33																																																																																											
地域連携バス適用件数(新規)	39		47	△ 8																																																																																											
脳卒中	12		24	△ 12																																																																																											
大腿骨頸部骨折	27		23	4																																																																																											

※「実施状況」欄における「達成率(%)」は、経営計画(Ver. II)で設定した平成27年度の年間目標に対する年間の実績の割合。また「H27」は、平成27年度実績。

経営計画の項目【1】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など
(3) 救急患者の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急診療体制 現行の体制維持</li> <li>救急患者数 年間 20,600 人</li> <li>うち救急搬送患者数 年間 3,300 人</li> <li>うち入院患者数 年間 2,495 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の確保(救急、一般内科) 内科・外科→24時間365日 小児科→輪番制(毎週火・土)</li> <li>断らない救急をめざし、ベッド確保(ベッドコントロール)</li> <li>心臓コール、脳神経外科、形成外科の救急受け入れの継続、画像転送による診断力の向上</li> <li>救急受け入れ体制強化に向け、施設整備によるICU増床(5床→6床)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度実績</li> <li>H27 達成率(%) H26 H27-H26</li> <li>計画救急診療体制 内科・外科→24時間365日 小児科→輪番制(毎週火・土) 継続</li> <li>H27年度実績 (人)</li> <li>H27 達成率(%) H26 H27-H26</li> <li>救急患者数 21,018 102.0 21,100 Δ 82</li> <li>うち救急搬送患者数 3,772 114.3 3,238 534</li> <li>うち入院患者数 2,526 101.2 2,504 22</li> <li>心臓コール受入件数 29 30 Δ 1</li> <li>H27年度竣工(6/8 6床運用開始)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療については、現状の救急診療体制と、心臓コール等のオンコールによる対応を継続するとともに、H27年6月にICUを5床から6床に増床し、また院内に救急対策チームを設置し受け入れ数の増加に取り組んだ。</li> <li>救急患者数は、輪番制の小児初期救急が対前年度で396人の減となったことにより、全体では82人(Δ0.4%)の微減となったが、救急搬送の受入数は対前年度で534人(16%)の増となり、また救急からの入院も増えるなど取り組みの成果が現れ、救急患者数等の指標はいずれも目標を上回った。</li> </ul>
(4) 周産期医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>分娩件数 年間 768 件</li> <li>搬送受入件数 年間 45 件</li> <li>NICUの病床利用率向上 年間 80.0 %</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分娩件数の目標達成に向けた受け入れ</li> <li>近隣の病院、産婦人科医院との連携(紹介、新生児蘇生法の研修会実施)</li> <li>地域周産期母子医療センターとしてOGCS、NMCSシステムへの協力</li> <li>NICUの効率的運用</li> <li>産婦人科、小児科、NICUの連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度実績 (人)</li> <li>H27 達成率(%) H26 H27-H26</li> <li>分娩件数 736 95.8 754 Δ 18</li> <li>OGCS、NMCSによる搬送受入件数 46 102.2 44 2</li> <li>NICU病床利用率(%) 77.6 97.0 76.3 1.3</li> <li>異常分娩件数(件) 167 175 Δ 8</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>分娩については、現状の産婦人科の体制が続く中、新計画において件数の目標を増やし達成に取り組んだが、件数は前年度実績及び目標を若干下回った。</li> <li>地域周産期母子医療センターとして、緊急母体搬送を20件、新生児緊急搬送を26件(うち1000g未満の超低出生体重児1件)受け入れた。またNICUの病床利用率は、目標は下回ったが前年度実績を若干上回った。分娩件数の増加をめざすと同時に、地域周産期医療において引き続き重要な役割を担っていく。</li> </ul>
(5) 疾病予防事業の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間ドック実施体制 週2回実施の継続</li> <li>検診体制の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間ドック実施件数の目標達成に向けた受け入れ</li> <li>外来、入院治療に支障のない範囲での、その他健診、予防接種の受け入れ</li> <li>小児科における食物アレルギーおよび低身長検査入院の積極的受け入れ</li> <li>医療ケアを要する重症心身障がい児の短期入院受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度実績 (件)</li> <li>H27 達成率(%) H26 H27-H26</li> <li>人間ドック 週2回実施の継続 継続</li> <li>人間ドック件数 674 672 2</li> <li>(うち脳ドック) (136) (145) (Δ 9)</li> <li>乳がん検診 1,411 1,248 163</li> <li>子宮がん検診 679 714 Δ 35</li> <li>大腸がん検診 254 239 15</li> <li>特定健診 891 942 Δ 51</li> <li>小児科入院検査→3-(2)</li> <li>重症心身障がい児の短期入院受け入れ件数→3-(2)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間ドック検診は、実施日の拡大が困難な中、新計画においても週2日(月・水)の実施を継続し、H27年度はオプションの脳ドック受診が若干減少したが、全体では前年度とほぼ同数であった。</li> <li>また、H27年度の特徴として、乳がん検診の件数が前年度から13.1%の増加となり、乳がんに対する関心の高まりから件数が増えたものと考えられる。</li> </ul>
(6) 地域住民、関係機関に対する情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立病院公開講座、出前講座の開催</li> <li>地域住民に対する情報発信</li> <li>保健所、学校等との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立病院公開講座、出前講座の開催</li> <li>地域住民に対する情報発信</li> <li>保健所、学校等との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八尾市立病院公開講座(7/18、8/29、9/27、12/12、3/26)</li> <li>出前講座 14回開催(講師派遣のべ20名)</li> <li>(後援)市民医療公開講座～知っておきたい「がん」の知識～(大阪広域医療情報交換会)(5/16)</li> <li>中河内がん診療最前線(中河内がん診療ネットワーク協議会)(3/5)</li> <li>健康相談(看護部)、お薬相談(薬剤部)(公開講座開催時等)</li> <li>市政だよりへの掲載・市立病院だよりの発行</li> <li>FMちゃおへの出演</li> <li>保健師介入中のケアを要する小児例の情報交換会(3月)</li> <li>地域生徒の体験受け入れ</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域からの要望に応え、市民の健康意識の向上や市立病院への理解を深めてもらうことを目的として実施している出前講座については、H27年度は実施回数14回で、延べ20人の職員が講師を務めた。H28年度においても地域の要望に可能な限り応える。</li> <li>また、八尾市立病院公開講座を5回実施したほか、プリズムホールにおいて、がん診療に関する講座の後援、中河内がん診療ネットワーク協議会によるシンポジウムの開催等、地域がん診療連携拠点病院として地域住民への情報発信に努めた。</li> </ul>
(7) 市災害医療センターの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時受け入れ訓練の実施</li> <li>防災備蓄倉庫の拡張、災害時対応資器材の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急救護訓練の継続実施</li> <li>整備が必要な資器材の選定とその配置</li> <li>インフルエンザ関連備品の備蓄</li> <li>災害対策要員用食糧備蓄の開始(5年で充足予定)</li> <li>防災備蓄倉庫の整備(H27.3月完了)</li> <li>院内防災マニュアルの改訂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急救護訓練実施(9/3)</li> <li>自衛消防自主訓練(10/28、2/25)</li> <li>H27年度実績</li> <li>H27 達成率(%) H26 H27-H26</li> <li>災害時受け入れ訓練の実施 継続実施 継続</li> <li>災害時対応資器材の充実</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>市災害医療センターとしての機能充実に向け、施設整備により北館に防災備蓄倉庫を設置し、併せて年次計画による災害用備品・食料等備蓄品の購入を進めた。また、災害発生に備え応急救護訓練を9月に実施した。</li> </ul>

2. 医療の質の向上に対する取り組み

経営計画の項目【2】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など																																																		
(1)がん診療の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間がん患者数 年間 2,170 件</li> <li>がん患者の手術件数 年間 1,030 件</li> <li>外来化学療法件数 年間 4,200 件</li> <li>放射線治療件数 年間 2,400 件</li> <li>がん診療地域連携クリティカルパス運用件数 3月末 110 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域がん診療連携拠点病院の継続</li> <li>診療機能の充実(検査、治療)</li> <li>緩和ケア、がん相談の継続実施</li> <li>外来化学療法室の整備</li> <li>がん診療地域連携クリティカルパスの運用</li> <li>がんに関する研修会等の実施</li> <li>がんに関する市民への情報提供</li> <li>診療機能のPR</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">・H27年度実績 (人、件)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>達成率(%)</th> <th>H26</th> <th>H27-H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間がん患者数</td> <td>2,044</td> <td>94.2</td> <td>2,254</td> <td>△ 210</td> </tr> <tr> <td>がん患者の手術件数</td> <td>979</td> <td>95.0</td> <td>981</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法件数</td> <td>4,451</td> <td>106.0</td> <td>4,376</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>3,119</td> <td>130.0</td> <td>6,169</td> <td>△ 3,050</td> </tr> <tr> <td>がん診療地域連携クリティカルパス運用数(3月末)</td> <td>180</td> <td>163.6</td> <td>101</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>がん相談件数</td> <td>1,703</td> <td></td> <td>1,736</td> <td>△ 33</td> </tr> <tr> <td>" (新規)</td> <td>774</td> <td></td> <td>749</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア新規介入件数</td> <td>132</td> <td></td> <td>97</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セカンドオピニオン(16件)、肝臓がんよろず専門外来(14件)</li> <li>・外来化学療法室の整備工事</li> <li>・緩和ケア研修会→1-(2)</li> <li>・中河内がん診療ネットワーク協議会→1-(2)(6)</li> <li>・がん患者とその家族を対象にした展示「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス」開催</li> <li>・ピンクリボン運動「ジャパン・マンモグラフィ・サンデー」参加</li> </ul>	・H27年度実績 (人、件)						H27	達成率(%)	H26	H27-H26	年間がん患者数	2,044	94.2	2,254	△ 210	がん患者の手術件数	979	95.0	981	△ 2	外来化学療法件数	4,451	106.0	4,376	75	放射線治療件数	3,119	130.0	6,169	△ 3,050	がん診療地域連携クリティカルパス運用数(3月末)	180	163.6	101	79	がん相談件数	1,703		1,736	△ 33	" (新規)	774		749	25	緩和ケア新規介入件数	132		97	35	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者数、がん手術件数ともに前年度実績と目標を下回った。医師退職により腫瘍内科の患者数が皆減となったことが大きな要因と考えられる。</li> <li>しかしながら、外来化学療法については、外来化学療法室の整備もあり件数を維持し、また放射線治療については機器更新のため年度途中から年度末まで長期間休止となることを踏まえ年間目標を設定したが、3月に再開し、ともに目標を上回る実績となった。</li> <li>さらに地域医療連携の充実に向けた、がん診療連携クリティカルパスの運用件数は着実に増加し目標を上回った。</li> <li>・H27年4月に国から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、地域医療連携の一層の強化により、がん患者数、手術件数の目標達成に取り組むとともに、緩和ケア、がん相談、地域への情報提供等の一層の充実をめぐる。</li> </ul>
・H27年度実績 (人、件)																																																							
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																			
年間がん患者数	2,044	94.2	2,254	△ 210																																																			
がん患者の手術件数	979	95.0	981	△ 2																																																			
外来化学療法件数	4,451	106.0	4,376	75																																																			
放射線治療件数	3,119	130.0	6,169	△ 3,050																																																			
がん診療地域連携クリティカルパス運用数(3月末)	180	163.6	101	79																																																			
がん相談件数	1,703		1,736	△ 33																																																			
" (新規)	774		749	25																																																			
緩和ケア新規介入件数	132		97	35																																																			
(2)チーム医療の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>チーム医療の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各チームでの活動の活性化とその成果発表会の開催</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">・H27年度実績</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>達成率(%)</th> <th>H26</th> <th>H27-H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チーム医療活動</td> <td colspan="2">チーム医療推進委員会を中心とした活動、発表会の開催</td> <td colspan="2">継続</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動チーム数 9チーム(栄養管理、緩和ケア、褥瘡対策、化学療法、院内感染対策、呼吸ケア、周術期血栓対策、救急対策、退院調整)</li> <li>・発表会実施(3/16)</li> </ul>	・H27年度実績						H27	達成率(%)	H26	H27-H26	チーム医療活動	チーム医療推進委員会を中心とした活動、発表会の開催		継続		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の質の向上に向け複数の職種のスタッフがチームを組んで行う「チーム医療」については、チーム医療推進委員会を中心に活動を継続し、その活動内容を院内に発表した。</li> <li>また院内の活動にとどまらず、地域において、緩和ケアチームによる医療・介護従事者や地域住民を対象とした緩和ケア研修、講演活動を継続するとともに、院内感染対策チームは中河内感染防止対策協議会に参画し、カンファレンス活動を通じ各医療施設の感染対策のレベルアップに寄与した。</li> </ul>																																			
・H27年度実績																																																							
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																			
チーム医療活動	チーム医療推進委員会を中心とした活動、発表会の開催		継続																																																				
(3)手術室の効率的な運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術室において実施するもの</li> <li>年間 4,485 件</li> <li>うち全身麻酔手術 年間 2,340 件</li> <li>うち鏡視下手術 年間 522 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術、全身麻酔手術、鏡視下手術等の増加</li> <li>市立病院公開講座等における手術のPR</li> <li>地域医療機関へのPR</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">・H27年度実績 (件)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>達成率(%)</th> <th>H26</th> <th>H27-H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数(全体)</td> <td>4,497</td> <td>100.3</td> <td>4,428</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>全身麻酔手術件数</td> <td>2,673</td> <td>114.2</td> <td>2,361</td> <td>312</td> </tr> <tr> <td>鏡視下手術件数</td> <td>544</td> <td>104.2</td> <td>501</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>※中央手術室において実施する手術</li> <li>※鏡視下手術とは、腹腔鏡下手術と胸腔鏡下手術の総称</li> </ul>	・H27年度実績 (件)						H27	達成率(%)	H26	H27-H26	手術件数(全体)	4,497	100.3	4,428	69	全身麻酔手術件数	2,673	114.2	2,361	312	鏡視下手術件数	544	104.2	501	43	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央手術室における手術件数は、眼科の手術件数の減(△274件)により、全体の件数では対前年度で1.6%の微増にとどまったが、全身麻酔手術件数は対前年度で13.2%の増、また鏡視下手術件数は対前年度で8.6%の増となり、手術件数等の指標はいずれも目標を上回った。</li> </ul>																									
・H27年度実績 (件)																																																							
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																			
手術件数(全体)	4,497	100.3	4,428	69																																																			
全身麻酔手術件数	2,673	114.2	2,361	312																																																			
鏡視下手術件数	544	104.2	501	43																																																			
(4)クリニカルパスの充実による医療の標準化	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者に対する院内クリニカルパス適用率</li> <li>54.5 %</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリニカルパスの整備と運用</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">・H27年度実績 (%)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>達成率(%)</th> <th>H26</th> <th>H27-H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者に対する院内クリニカルパス適用率</td> <td>54.6</td> <td>100.2</td> <td>52.9</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>※H27、H26とも院内クリニカルパスの適用基準見直し後の数値</li> </ul>	・H27年度実績 (%)						H27	達成率(%)	H26	H27-H26	入院患者に対する院内クリニカルパス適用率	54.6	100.2	52.9	1.7	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内クリニカルパスの適用を着実に進めた結果、適用率は前年度実績、及び目標を上回っており、DPCIに対応した治療の標準化がさらに進んだ。</li> </ul>																																			
・H27年度実績 (%)																																																							
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																			
入院患者に対する院内クリニカルパス適用率	54.6	100.2	52.9	1.7																																																			
(5)医療安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的取り組み(院内巡視活動等)の計画と実践</li> <li>職員への周知・啓発のための定期的な活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>院内セーフティラウンドの実施</li> <li>医療安全講演会開催</li> <li>院内感染対策講演会開催</li> <li>院内の標語を毎月電子カルテシステムに掲示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>院内セーフティラウンドの実施(9回)</li> <li>標語の電子カルテシステム掲載</li> <li>院内スタッフを対象とした医療安全講演会(7/16、8/31、12/16)</li> <li>院内スタッフを対象とした院内感染対策講演会(10/29、3/10)</li> <li>感染対策管理室設置に向けた調整(H28/4/1設置)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に従い、医療安全管理室、医療安全管理委員会、院内感染対策委員会を中心に、医療従事者への情報提供、定期的な職場の巡視、講演会の開催等に取り組んだ。また、院内感染対策のさらなる強化と、新型インフルエンザ等の健康危機事象への迅速な対応をめざし感染対策管理室を設置した。</li> </ul>																																																		

経営計画の項目【2】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など
(6)患者満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇の向上</li> <li>・市民ボランティアの参画等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇向上に向け、職員対象に研修会を実施</li> <li>・利用者からの意見に対する対応</li> <li>・患者満足度調査結果の掲載、満足度の向上</li> <li>・病院ボランティアの活動の継続実施</li> <li>・絵画掲示の継続</li> <li>・院内コンサート(中学校吹奏楽部)の継続</li> <li>・TQMチーム募集と活動発表会の実施、TQM活動実行委員会による進行管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度実績 (%)</li> <li>患者アンケート結果 ※</li> <li>入院患者満足度</li> <li>外来患者満足度</li> <li>※H27年度は12/7～12/13に実施、入院・外来とも回答者のうち総合的な評価で「満足」又は「やや満足」と回答した人の割合</li> <li>・接遇向上に向け、職員対象に研修会(6/1)</li> <li>・利用者からの意見に対する対応、結果の公表(対応を公表することが必要と判断したもの)</li> <li>・接遇強化月間の設定による接遇の意識向上(10月)</li> <li>・Best Hospitality賞(接遇大賞)の新設</li> <li>・H27年度実績 (3月末登録人数) (人)</li> <li>病院ボランティア登録数</li> <li>TQM活動実績</li> <li>・絵画の掲示の更新(10/5)</li> <li>・院内コンサート実施(6/20、10/24、3/13)</li> <li>【TQM活動】</li> <li>・参加チーム数 17チーム</li> <li>・TQM活動実行委員会による活動</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者から寄せられた様々な声は、接遇改善委員会において対応を検討し、医療現場、関係する院内委員会に情報提供や改善の依頼を行った。また、PFI事業者も患者アンケート、食事アンケートを継続実施し、これらの結果を病院内で共有し業務改善を行うことで、高い満足度の維持に努めた。また病院ボランティアについては、18人の方に外来での案内や患者誘導に活動いただいた。</li> <li>・PFI事業者を含む院内の全ての個人もしくは団体(所属)の中で、年度において患者から最も感謝やお礼の投書、手紙が多かった者に対する表彰制度(Best Hospitality賞)を設け、H27年度は1団体、個人1名が大賞に、また個人1名が特別賞に選ばれ表彰を受けた。</li> <li>・TQM活動は、PFI事業者を含めた17チームが参加し、業務改善、患者サービスの向上に向け、TQM活動実行委員会を中心として、計画に従い活動した。TQM開始から7年となるため、活動を継続させながら、この間の成果の定着・水平展開の確認、今後の進め方の検討を行っていく。</li> </ul>

3. 健全経営の確保に対する取り組み

経営計画の項目【3】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など																																																														
(1)医療スタッフの確保 ①医師の確保	<p>平成28年4月の医師計画数</p> <p>正職員 81人</p> <p>嘱託員 15人</p> <p>勤務環境の整備</p>	<p>各大学医局への要請を継続</p> <p>診療方針・機能、医療ニーズに対応した診療科医師の重点確保</p> <p>派遣大学との人事交流の促進</p> <p>学会発表等の推奨</p> <p>臨床研修プロジェクトの充実</p> <p>モチベーション向上策の検討</p> <p>院内保育所の設置・運営等</p> <p>医師事務作業補助者の増員</p>	<p>4月1日現在の医師数 (人)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28.4.1</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27.4.1</td> <td>H26.4.1</td> </tr> <tr> <td>正職員</td> <td>82</td> <td>101.2</td> <td>79</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>嘱託員</td> <td>16</td> <td>106.7</td> <td>13</td> <td>11</td> </tr> </table> <p>※初期研修医を除く。</p> <p>大学病院等への訪問活動の継続</p> <p>臨床研修医合同説明会(7/5)、近畿厚生局病院説明会(2/20)</p> <p>大阪市立大学説明会(10/31)、大阪大学説明会(3/5)</p> <p>医局、院内保育ルーム(定員20名)整備</p>		H28.4.1	達成率(%)	H27.4.1	H26.4.1	正職員	82	101.2	79	82	嘱託員	16	106.7	13	11	A	<p>H27年4月の医師数は、正職員・嘱託を合わせ92人で、前年度末の定年退職のほか腫瘍内科医師の退職等により前年4月より1人減となった。しかしH27年度中の取り組みの結果、H28年4月は嘱託を含め前年度より6人増となり、H28年4月の目標医師数を上回った。</p> <p>医師の充足は困難な状況が続いているが、内科を中心にニーズが高い分野の医師確保に向け、引き続き幹部職員による大学への働きかけを精力的に行う。</p> <p>医師事務作業補助者の業務を病棟に拡大し、医師の負担軽減と円滑な事務処理に努めた。また医局の整備工事を行うとともに、4月から院内保育ルームの定員を増加するなど、勤務環境の改善に努めた。</p>																																															
	H28.4.1	達成率(%)	H27.4.1	H26.4.1																																																															
正職員	82	101.2	79	82																																																															
嘱託員	16	106.7	13	11																																																															
②看護師、医療技術員などの確保	<p>平成28年4月の計画数</p> <p>看護師 315人</p> <p>医療技術員 68人</p> <p>事務職員 19人</p> <p>年間を通じ、7:1基準看護等の条件を維持</p> <p>新たな加算取得に向けた配置計画と採用</p> <p>医師事務作業補助者数 16人</p>	<p>情勢に対応した職員の迅速な確保に向け、職員採用試験を随時実施</p> <p>非正規職員等の随時採用と活用</p> <p>職員採用情報の広報(ホームページ、市政だより、ハローワーク等)</p> <p>多様な勤務形態の整備(2交代の検討)</p> <p>時間帯や各職場の需要に応じた人員の柔軟な配置と応援体制の継続</p> <p>再就職支援事業への協力</p> <p>専門資格取得等の支援の継続</p> <p>実習生受け入れ</p>	<p>4月1日現在の職員数 (人)</p> <table border="1"> <tr> <td>職員数内訳</td> <td>H28.4.1</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27.4.1</td> <td>H26.4.1</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>82</td> <td>101.2</td> <td>79</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>312</td> <td>99.0</td> <td>309</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>医療技術員</td> <td>68</td> <td>100.0</td> <td>66</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>事務職員</td> <td>18</td> <td>94.7</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>【合計】</td> <td>480</td> <td>99.4</td> <td>470</td> <td>470</td> </tr> </table> <p>※事業管理者除く</p> <table border="1"> <tr> <td>【嘱託・臨時職員合計】</td> <td>136</td> <td></td> <td>131</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>【総合計】</td> <td>616</td> <td></td> <td>601</td> <td>586</td> </tr> </table> <p>不足する特定部門の職員の募集計画</p> <p>地域の求人情報誌の活用、看護部による学校訪問</p> <p>病棟の2交代制実施に向けた調整(H28.4～8階東病棟で実施)</p> <p>看護師の再就職支援講習会への協力</p> <p>4月1日現在の職員数 (人)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28.4.1</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27.4.1</td> <td>H26.4.1</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助者</td> <td>16</td> <td>100.0</td> <td>13</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>※常勤者のみ</p>	職員数内訳	H28.4.1	達成率(%)	H27.4.1	H26.4.1	医師	82	101.2	79	82	看護師	312	99.0	309	311	医療技術員	68	100.0	66	61	事務職員	18	94.7	16	16	【合計】	480	99.4	470	470	【嘱託・臨時職員合計】	136		131	116	【総合計】	616		601	586		H28.4.1	達成率(%)	H27.4.1	H26.4.1	医師事務作業補助者	16	100.0	13	8	B	<p>H27年4月の医師以外の職員数については、看護師が前年4月を下回ったが、年度途中において今後の診療体制に対応した看護師、放射線技師、薬剤師等の採用を進めた結果、事務局の定期人事異動による増員と合わせ、H28年4月現在では全職種で前年4月を上回った。看護師、事務職員は目標を下回ったが、医療技術員は目標に達した。</p> <p>病院スタッフについては、チーム医療の推進、医師・看護師の負担軽減と業務の円滑な処理による患者サービスの向上をめざし、事業収益と給与費の伸びのバランスを勘案しながら確保に努める。</p>												
職員数内訳	H28.4.1	達成率(%)	H27.4.1	H26.4.1																																																															
医師	82	101.2	79	82																																																															
看護師	312	99.0	309	311																																																															
医療技術員	68	100.0	66	61																																																															
事務職員	18	94.7	16	16																																																															
【合計】	480	99.4	470	470																																																															
【嘱託・臨時職員合計】	136		131	116																																																															
【総合計】	616		601	586																																																															
	H28.4.1	達成率(%)	H27.4.1	H26.4.1																																																															
医師事務作業補助者	16	100.0	13	8																																																															
③給与費の割合の抑制	<p>医業収益に対する職員給与費の割合 49.0%以下</p> <p>※地方公営企業会計基準による職員給与費から算出した比率</p>	<p>患者数に柔軟に対応した職員数の確保(非正規職員の採用の推進)</p> <p>時間帯や各職場の需要に応じた人員の適正配置(効率配置による人員の抑制)</p> <p>診療報酬制度に対応した収益向上と適正配置により、相対的に給与費比率を抑制</p>	<p>H27年度実績 ※1 (%)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>達成率(%)</td> <td>H26</td> <td>H27-H26</td> </tr> <tr> <td>医業収益に対する職員給与費の割合 ※2</td> <td>45.8</td> <td>107.0</td> <td>47.4</td> <td>△ 1.6</td> </tr> <tr> <td>医業収益に対する給与費総額の割合</td> <td>49.3</td> <td></td> <td>50.5</td> <td>△ 1.2</td> </tr> </table> <p>※1 上記の達成率(%)=目標値/実績値*100</p> <p>※2 職員給与費=地方公営企業会計基準により臨時職員の賃金等を除いたもの</p>		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	医業収益に対する職員給与費の割合 ※2	45.8	107.0	47.4	△ 1.6	医業収益に対する給与費総額の割合	49.3		50.5	△ 1.2	A	<p>職員給与費においては、医業収益の伸びを反映して医師の診療手当が上昇したほか、非正規職員の報酬・賃金、法定福利費等が増加したが、医業収益の伸び率(対前年度4.9%)が職員給与費の伸び率(1.5%)を上回ったことにより数値は前年度より良好化し目標を上回った。</p> <p>医業収益の上昇については高額材料の使用による器材収入の増加も要因となっているため、職員給与費の比率のみならず、医業費用全体と医業収益のバランスを注視していく。</p>																																															
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																															
医業収益に対する職員給与費の割合 ※2	45.8	107.0	47.4	△ 1.6																																																															
医業収益に対する給与費総額の割合	49.3		50.5	△ 1.2																																																															
(2)入院・外来患者の確保	<p>年間延入院患者数 年間 120,300人</p> <p>病床利用率 86.5%</p> <p>年間延外来患者数 年間 191,970人</p> <p>病棟編成の見直し</p>	<p>各項目の取り組みの推進により、経営計画の目標患者数の達成を図る(診療機能のPR、地域医療連携、救急医療、高度医療の推進、患者サービス向上等)</p> <p>退院支援業務の充実</p> <p>患者数確保、施設標準の維持、診療報酬制度に対応した検討</p>	<p>H27年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>達成率(%)</td> <td>H26</td> <td>H27-H26</td> </tr> <tr> <td>年間延入院患者数(人)</td> <td>118,311</td> <td>98.3</td> <td>117,196</td> <td>1,115</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>85.1</td> <td>98.4</td> <td>84.5</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>年間延外来患者数(人)</td> <td>201,687</td> <td>105.1</td> <td>199,246</td> <td>2,441</td> </tr> <tr> <td>5西、6西、ICU、NICU(%)</td> <td>71.4</td> <td></td> <td>70.5</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>その他の病床利用率(%)</td> <td>89.3</td> <td></td> <td>88.8</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>新入院患者数(人)</td> <td>10,940</td> <td></td> <td>10,626</td> <td>314</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>9.8</td> <td></td> <td>10.0</td> <td>△ 0.2</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率(%)</td> <td>97.5</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>H27年度実績 (人)</p> <table border="1"> <tr> <td>入院患者数増加の取組み</td> <td>H27</td> <td>達成率(%)</td> <td>H26</td> <td>H27-H26</td> </tr> <tr> <td>食物アレルギー負荷試験</td> <td>226</td> <td></td> <td>260</td> <td>△ 34</td> </tr> <tr> <td>成長ホルモン負荷試験</td> <td>66</td> <td></td> <td>53</td> <td>13</td> </tr> </table> <p>重症心身障がい児の短期入院受け入れ(H27 3件←H26 4件)</p> <p>H27年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>病棟編成の見直し</td> <td>小児病床(39→38)、ICU(5→6)、更に検討</td> </tr> </table>		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	年間延入院患者数(人)	118,311	98.3	117,196	1,115	病床利用率(%)	85.1	98.4	84.5	0.6	年間延外来患者数(人)	201,687	105.1	199,246	2,441	5西、6西、ICU、NICU(%)	71.4		70.5	0.9	その他の病床利用率(%)	89.3		88.8	0.5	新入院患者数(人)	10,940		10,626	314	平均在院日数(日)	9.8		10.0	△ 0.2	在宅復帰率(%)	97.5		-	-	入院患者数増加の取組み	H27	達成率(%)	H26	H27-H26	食物アレルギー負荷試験	226		260	△ 34	成長ホルモン負荷試験	66		53	13	病棟編成の見直し	小児病床(39→38)、ICU(5→6)、更に検討	B	<p>入院患者数については、新入院患者数は対前年度で314人増加したが、平均在院日数は前年度の10.0日からさらに0.2日短縮しており、病床利用率としては目標を下回った。</p> <p>政策医療に関する病床(小児科、NICU、ICU、産婦人科)、その他の病床とも前年度より病床利用率が上昇したが、将来の病床機能のあり方については、今後の医療制度や医療ニーズの動向を踏まえながら検討を続ける。</p> <p>外来患者数は、腫瘍内科で医師退職により皆減となったが、他で外来化学療法を維持し、また放射線治療が長期間休止となったものの、全体では対前年度2,441人の増となった。</p> <p>小児科においては、学校園や保健所との連携により、低身長・食物アレルギー疾患に対する啓発活動、検査入院の受け入れ、及び重症心身障がい児の短期受け入れ(レスパイト入院)を継続し、市民の健康維持に貢献するとともに、病床の有効活用を図った。</p>
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																															
年間延入院患者数(人)	118,311	98.3	117,196	1,115																																																															
病床利用率(%)	85.1	98.4	84.5	0.6																																																															
年間延外来患者数(人)	201,687	105.1	199,246	2,441																																																															
5西、6西、ICU、NICU(%)	71.4		70.5	0.9																																																															
その他の病床利用率(%)	89.3		88.8	0.5																																																															
新入院患者数(人)	10,940		10,626	314																																																															
平均在院日数(日)	9.8		10.0	△ 0.2																																																															
在宅復帰率(%)	97.5		-	-																																																															
入院患者数増加の取組み	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																															
食物アレルギー負荷試験	226		260	△ 34																																																															
成長ホルモン負荷試験	66		53	13																																																															
病棟編成の見直し	小児病床(39→38)、ICU(5→6)、更に検討																																																																		

経営計画の項目【3】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など																																																		
(3)診療単価の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院診療単価 60,930 円</li> <li>外来診療単価 15,035 円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目の取り組みの推進により、経営計画の目標設定の診療単価の達成を図る</li> <li>診療報酬改定への対応</li> <li>医療機器を活用した検査・治療の充実</li> <li>検査待ち日数の短縮化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度実績 (税抜き 円)</li> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>達成率(%)</td> <td>H26</td> <td>H27-H26</td> </tr> <tr> <td>入院患者1人1日当収入</td> <td>63,507</td> <td>104.2</td> <td>60,463</td> <td>3,044</td> </tr> <tr> <td>外来患者1人1日当収入</td> <td>15,580</td> <td>103.6</td> <td>15,275</td> <td>305</td> </tr> </table> <li>H27年度実績 (件)</li> <table border="1"> <tr> <td>高度医療機器の活用</td> <td>H27</td> <td>達成率(%)</td> <td>H26</td> <td>H27-H26</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>13,873</td> <td></td> <td>12,797</td> <td>1,076</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>6,120</td> <td></td> <td>5,852</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td>マンモグラフィ</td> <td>3,634</td> <td></td> <td>2,860</td> <td>774</td> </tr> <tr> <td>血管造影(検査・治療)</td> <td>1,053</td> <td></td> <td>1,138</td> <td>△ 85</td> </tr> <tr> <td>内視鏡(検査・治療)</td> <td>5,566</td> <td></td> <td>5,503</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>超音波検査</td> <td>14,457</td> <td></td> <td>12,971</td> <td>1,486</td> </tr> </table> <li>主要機器の検査待ち日数の短縮化</li> <li>算定件数等による増収(出来高ベースで試算) 救急医療管理加算1,780万円、周術期口腔機能管理116万円、 医師事務作業補助、診療録管理体制、放射線治療関係</li> <li>DPC・コーディング委員会による分析・検討と現場への提案</li> <li>他病院との比較とにより改善すべき疾患例を抽出し各部門に フィードバック</li> <li>退院時点検によるコードの適正化 4,669万円</li> </ul>		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	入院患者1人1日当収入	63,507	104.2	60,463	3,044	外来患者1人1日当収入	15,580	103.6	15,275	305	高度医療機器の活用	H27	達成率(%)	H26	H27-H26	CT	13,873		12,797	1,076	MRI	6,120		5,852	268	マンモグラフィ	3,634		2,860	774	血管造影(検査・治療)	1,053		1,138	△ 85	内視鏡(検査・治療)	5,566		5,503	63	超音波検査	14,457		12,971	1,486	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院・外来とも前年度実績及び目標を上回った。入院では、循環器内科のカテーテル治療の増による処置・手術収入の増加が大きく、外来については抗がん剤等の注射収入で上昇した。</li> <li>診療単価上昇の一方、医療材料(薬品、償還材料)も増加しており、調達交渉をさらに強化するとともに、診療報酬の維持・増加に向けた方策を引き続き検討する。</li> <li>主要な医療機器の検査件数は、血管造影が機器更新による休止期間があったため対前年度7.5%の減となったが、他は前年度を上回り、特にマンモグラフィによる撮影件数が対前年度27.1%の大幅増となった。</li> <li>超音波検査は、外来で879件、入院で607件の増加となり、主に循環器内科の症例の増加によるものであるが、入院での検査が多いため引き続き診療科と協力し外来へのシフトを進める。</li> <li>DPCコーディング委員会、診療報酬委員会において、DPC分析ツールを活用したベンチマーク分析、施設基準や加算の検討など、医療安全に配慮しながら収益とコストの両面からの適切な分析と情報提供を行った。</li> </ul>
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																			
入院患者1人1日当収入	63,507	104.2	60,463	3,044																																																			
外来患者1人1日当収入	15,580	103.6	15,275	305																																																			
高度医療機器の活用	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																			
CT	13,873		12,797	1,076																																																			
MRI	6,120		5,852	268																																																			
マンモグラフィ	3,634		2,860	774																																																			
血管造影(検査・治療)	1,053		1,138	△ 85																																																			
内視鏡(検査・治療)	5,566		5,503	63																																																			
超音波検査	14,457		12,971	1,486																																																			
(4) 医業収益の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>レセプト平均査定率 0.35 %以下</li> <li>徴収率(現年度分) 99.0 %以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬への適切な反映</li> <li>診療報酬委員会での分析と対応</li> <li>診療報酬精度調査等</li> <li>債権管理条例の施行に対応した管理体制の実施</li> <li>窓口未収金の督促・未収金発生防止策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度の状況(27.12月請求分まで) (%)</li> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>達成率(%)</td> <td>H26</td> <td>H27-H26</td> </tr> <tr> <td>レセプト平均査定率 ※</td> <td>0.51</td> <td>68.6</td> <td>0.33</td> <td>0.18</td> </tr> </table> <li>※上記の達成率(%)=目標値/実績値*100(実績値が低いほど良い)</li> <li>査定に対する検証と対策(算定方法見直し、異議申請等)</li> <li>診療報酬精度調査(1回)</li> <li>H27年度実績 (%、件)</li> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>達成率(%)</td> <td>H26</td> <td>H27-H26</td> </tr> <tr> <td>窓口収入徴収率(現年)</td> <td>99.30</td> <td>100.3</td> <td>99.38</td> <td>△ 0.08</td> </tr> <tr> <td>電話督促件数</td> <td>1,445</td> <td></td> <td>1,112</td> <td>333</td> </tr> <tr> <td>文書督促件数</td> <td>649</td> <td></td> <td>792</td> <td>△ 143</td> </tr> </table> </ul>		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	レセプト平均査定率 ※	0.51	68.6	0.33	0.18		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	窓口収入徴収率(現年)	99.30	100.3	99.38	△ 0.08	電話督促件数	1,445		1,112	333	文書督促件数	649		792	△ 143	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>査定率については前年度より数値が上昇し目標未達成となった。カテーテル治療件数、がん手術件数、高額な薬品の使用量増加等に伴い収益が増加した反面、これらに対する査定額も増加した。</li> <li>診療報酬精度調査等を継続し診療報酬の分析と適切な算定に努めるとともに、査定については診療報酬委員会において内容を検討し、必要なものは異議申請の手続きを行っており、これらの取り組みを継続する。</li> </ul>																				
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																			
レセプト平均査定率 ※	0.51	68.6	0.33	0.18																																																			
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																			
窓口収入徴収率(現年)	99.30	100.3	99.38	△ 0.08																																																			
電話督促件数	1,445		1,112	333																																																			
文書督促件数	649		792	△ 143																																																			
(5)診療材料費の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>医業収益に対する材料費の割合 23.0 %以下</li> <li>後発医薬品指数 60.0 %以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医業収益向上の取り組みと合わせ、相対的に材料費比率を抑制</li> <li>【診療材料】</li> <li>共同購入品数の増</li> <li>PFI事業者と現場の協力による価格交渉</li> <li>診療材料の市場価格調査</li> <li>SPCにおいて、半期毎の削減計画</li> <li>【医薬品】</li> <li>後発品への切り替え</li> <li>単価交渉の取り組み状況の確認</li> <li>薬剤部から医師への働きかけを継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度実績 (%)</li> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>達成率(%)</td> <td>H26</td> <td>H27-H26</td> </tr> <tr> <td>医業収益に対する材料費の割合 ※</td> <td>24.3</td> <td>94.7</td> <td>22.5</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品指数</td> <td>77.3</td> <td>128.8</td> <td>65.5</td> <td>11.8</td> </tr> </table> <li>※上記の達成率(%)=目標値/実績値*100(実績値が低いほど良い)</li> <li>H27年度実績 (%)</li> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>達成率(%)</td> <td>H26</td> <td>H27-H26</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品採用率(3月現在)</td> <td>20.5</td> <td></td> <td>17.1</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品使用率(年間)</td> <td>9.0</td> <td></td> <td>6.8</td> <td>2.2</td> </tr> </table> <li>※血液、麻薬、RI薬品を除く</li> <li>共同購入・企業独自の取組み 1,683万円(税抜き)</li> <li>直接交渉による薬品費・診療材料費削減 775万円(税抜き)</li> </ul>		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	医業収益に対する材料費の割合 ※	24.3	94.7	22.5	1.8	後発医薬品指数	77.3	128.8	65.5	11.8		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	後発医薬品採用率(3月現在)	20.5		17.1	3.4	後発医薬品使用率(年間)	9.0		6.8	2.2	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料費については、抗がん剤や新たなC型肝炎治療薬の採用、カテーテル治療の増加などにより、対前年度で12.9%(薬品7.4%、診療材料22.5%)の大きな伸びとなり、この結果、医業収益に対する材料費の割合は、目標の上限23.0%を1.3ポイント上回った。</li> <li>後発品がある医薬品のうち、どれだけ後発品に切り替えたかを表す後発医薬品指数については、前年度実績及び目標を上回る率となり、また後発品の採用率・使用率とも上昇するなど、コスト抑制に向けた取り組みを着実に進めており、H27年度のPFI事業検証においても、調達コストの妥当性については一定評価された。</li> <li>高額薬品の使用等により材料費の増加は今後も進むと予想されるため、病院とPFI事業者の協力により価格交渉、同種同効品への切替、共同購入の拡大等に取り組み、増加の抑制に努める。</li> </ul>																				
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																			
医業収益に対する材料費の割合 ※	24.3	94.7	22.5	1.8																																																			
後発医薬品指数	77.3	128.8	65.5	11.8																																																			
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																																																			
後発医薬品採用率(3月現在)	20.5		17.1	3.4																																																			
後発医薬品使用率(年間)	9.0		6.8	2.2																																																			

経営計画の項目【3】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など																				
(6)医療機器等の整備・更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能拡充に向けた施設整備</li> <li>必要性、導入効果等を勘案し、計画的に購入</li> <li>事業費の計画額 973 百万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能拡充に向けた施設整備の推進(H25年度～27年度)</li> <li>更新対象医療機器の使用状況と更新の必要性、収益見込み等を考慮した整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能拡充に向けた施設整備事業の継続</li> <li>H27年度実績 (税抜き 百万円)</li> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>達成率(%)</td> <td>H26</td> <td>H27-H26</td> </tr> <tr> <td>医療機器等購入費</td> <td>977</td> <td>100.4</td> <td>141</td> <td>836</td> </tr> </table> <li>高額医療機器の更新に向けた手続き</li> <li>医療機器等整備委員会における価格交渉状況の確認</li> </ul>		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	医療機器等購入費	977	100.4	141	836	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>3カ年の継続事業であった機能拡充に向けた施設整備は、H27年9月に事業を完了した。</li> <li>機器整備については、医療機器等整備委員会により必要性や価格の検討を行いながら、放射線治療装置、血管撮影装置の更新等を行った。</li> </ul>										
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																					
医療機器等購入費	977	100.4	141	836																					
(7)PFI事業者の経営支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>各業務の充実にに向けたマネジメント機能の発揮</li> <li>経営計画の目標達成に向けた経営支援、広報活動の充実</li> <li>PFI事業関係費の変動費の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬制度に対応した診療体制整備、診療報酬請求等の検証・提案</li> <li>病院とSPCの協力による調達業務におけるコスト削減</li> <li>市立病院の機能の広報(市民・医療機関)</li> <li>患者サービス向上の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収益向上 診療単価の向上、診療収益の確保⇒3-(3)、3-(4)、3-(5)</li> <li>費用削減 調達コストの縮減 ⇒3-(5)、3-(6) その他経費の節減に係る提案 ⇒3-(8)、3-(9)</li> <li>患者サービス向上・その他 公開講座の運営、地域医療機関等への訪問、PR等⇒1-(1) 患者満足度向上、ロビーコンサート、絵画展の運営等TQM活動への参加⇒1-(6) 市災害医療センターの機能強化 ⇒1-(7)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年度の事業計画に従い進められており、PFI事業者によるセルフモニタリングと病院によるモニタリングを継続実施しており、PFI事業検証においても、長期契約による人材育成と業務の質的向上、包括契約による相互の連携と調整の円滑化等のメリットが評価された。</li> </ul>																				
(8)病院維持管理運営事業の検討(平成31年度以降の手法検討)	<ul style="list-style-type: none"> <li>PFI事業の検証(H27年度)</li> <li>H31年度以降の手法検討</li> <li>移行に向けての手続き(H28～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PFI事業検証・評価業務の実施(H27)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度実績</li> <table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>現PFI事業の検証・評価</td> <td>業務委託実施(5月～12月)</td> </tr> </table> <li>業務実施に向けた手続きと検証結果の活用等の検討</li> <li>PFI事業に対する支出額 (税込 百万円)</li> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>計画額</td> <td>対計画(%)</td> </tr> <tr> <td>H16から当該年度まで</td> <td>45,557</td> <td>54,035</td> <td>84.3</td> </tr> </table> <li>※計画額＝債務負担行為限度額</li> </ul>	計画	H27	現PFI事業の検証・評価	業務委託実施(5月～12月)		H27	計画額	対計画(%)	H16から当該年度まで	45,557	54,035	84.3	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>PFI事業検証業務については、5月に契約を行い、当院のPFI事業に関するヒアリング、類似病院調査等の作業を進め、12月に報告を受けた。検証結果についてはホームページで公表するとともに、H28年度に予定される次期維持管理運営手法の検討に活用する。</li> <li>H30年度までの15年間の計画額(債務負担行為の限度額)に対するH27年度までの12年間の支出額の割合は84.3%となり、医療内容の変化により収益の伸びが続く一方で材料費の支出の伸びも続いているが、病院職員との協働により円滑で効率的な業務運営に努めるとともに、材料調達や医療機器更新等の変動費の抑制についてSPC・協力企業のさらなる努力を求めていく。</li> </ul>								
計画	H27																								
現PFI事業の検証・評価	業務委託実施(5月～12月)																								
	H27	計画額	対計画(%)																						
H16から当該年度まで	45,557	54,035	84.3																						
(9)その他の経費など	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気・ガス・水道の使用量の減(前年度以下)</li> <li>省エネルギー化にむけた検討・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H23年度に実施した節電対策を通年で継続実施</li> <li>省エネルギー推進委員会の活動</li> <li>ごみ減量計画の策定(毎年度)</li> <li>可燃ごみの排出量の抑制</li> <li>来院者への「減量」「分別」への協力依頼</li> <li>消耗品費等の抑制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー委員会の設置による削減の取り組み 病棟における電力消費量のチェック⇒看護部を通じ指導</li> <li>夏季・冬季の節電対策の継続実施 執務室の室温28度設定の徹底、消灯励行 上りエスカレータの16時以降の運転停止 自動扉の一部閉鎖、自販機の省エネモード運用</li> <li>雑用水の再生水活用(再生水9千㎡・254千円)</li> <li>H27年度実績</li> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>達成率(%)</td> <td>H26</td> <td>H27-H26</td> </tr> <tr> <td>電気(千kwh)</td> <td>7,456</td> <td></td> <td>7,484</td> <td>△ 28</td> </tr> <tr> <td>ガス(千㎡)</td> <td>1,184</td> <td></td> <td>1,192</td> <td>△ 8</td> </tr> <tr> <td>水道(千㎡)</td> <td>104</td> <td></td> <td>114</td> <td>△ 10</td> </tr> </table> <li>ごみ減量計画の作成と関係機関への提出</li> <li>可燃ごみの排出量の管理</li> <li>共同購入による消耗品費削減 3-(5)</li> </ul>		H27	達成率(%)	H26	H27-H26	電気(千kwh)	7,456		7,484	△ 28	ガス(千㎡)	1,184		1,192	△ 8	水道(千㎡)	104		114	△ 10	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季の節電対策を継続して実施するとともに、省エネルギー委員会により、「エネルギーの見える化」に向け、病棟を中心に月単位で電力消費量の測定と指導を行った。</li> <li>H27年度は、北館の供用開始による電気使用量の増加が見込まれたが、全体ではほぼ横ばいであった。引き続き、ガス(コ・ジェネ発電)との効果的な運用により使用量の抑制に努める。</li> <li>水道については、9月から大阪府の「竜華水みらいセンター」が供給する再生水を雑用水に活用し水道の使用量の抑制に努めた。</li> <li>H27年度の金額(税込) ( )は前年度比 電気 138,531千円(1.1%) ガス 98,350千円(△18.7%) 水道 58,264千円(△8.0%) 合計 295,145千円(△8.2%)</li> </ul>
	H27	達成率(%)	H26	H27-H26																					
電気(千kwh)	7,456		7,484	△ 28																					
ガス(千㎡)	1,184		1,192	△ 8																					
水道(千㎡)	104		114	△ 10																					

※「実施状況」欄における「達成率(%)」は、経営計画(Ver. II)で設定した平成27年度の年間目標に対する年間の実績の割合。また「H27」は、平成27年度実績。